



▲親子でティーボールバッティングに挑戦する様子

11月5日、表郷総合運動公園（表郷金山）で『第22回ふるさと白河表郷まつり』が開催されました。恒例の「ティーボール飛距離王決定戦！」には約90人が挑戦したほか、福島ホープスの選手も参加し、会場を盛り上げました。また、新そばなどの出店が並び、特設ステージでは、びゃっこい連による阿波踊りや、ダルライザーショー、人気ロックバンド「ひとりぼっち秀吉バンド」の演奏など多彩な催しが繰り広げられ、来場者は笑顔で楽しみました。

第22回ふるさと白河表郷まつり
晴天のもと笑顔あふれる



▲講演の様子。「その時歴史が動いた」などで知られる松平氏

元NHKアナ松平氏が戊辰を語る
10月25日、コミネス（会津町）で『戊辰戦争百五十周年記念講演』が開催されました。元NHKアナウンサーの松平定知氏が白河地方の歴史を解説しながら、戊辰戦争に対する持論を展開し、訪れた約250人の聴衆は、当時の白河に思いを馳せました。これは「戊辰戦争に学ぶ、地域への心、掘り起こし事業（白河から棚倉）」の一環で、11月26日には、棚倉町で白河口の戦いを描いた著書をもつ聖パウロ国際大教授の穂積忠氏による講演も行われました。



▲要望書を鈴木正晃副知事（右）へ手渡す鈴木市長

11月7日、鈴木市長が、本市と西白河郡の矢吹・西郷・泉崎・中島の4町村を代表し、「ご当地ナンバー」白河」を導入するための要望書を県に提出しました。現在、国では地域名のほか、図柄も追加できる新ナンバーを導入する地域を募集しています。5市町村は、9月に実施したアンケート結果などを踏まえ、広域的な観光・地域振興促進のため、ご当地ナンバー導入に向けた活動を本格化させています。今後、県と協力し、2020年の交付開始に向け、活動していきます。

ご当地ナンバー「白河」
5市町村で導入目指す



▲五合飯早食い大会の様子

第23回サンライズひがしフェスティバル
ラジオから地域の魅力を発信
11月3日、東風の台運動公園（東釜子）で『第23回サンライズひがしフェスティバル』が開催されました。会場には多くの出店が並び、特設ステージでは釜子小や小野田小、東中の児童生徒たちによる演奏のほか、恒例の「五合飯早食い大会」が行われ、参加した男女約20人が山盛りのご飯に果敢に挑戦して会場を沸かせました。また、ひがし商工会青年部が50周年を記念して「ふくしまFM公開収録」を行い、東地域の魅力を発信しました。



▲辛辣な意見も飛び交った公開選考会の様子

11月12日、新白信ビル（立石）で『第23回中山義秀文学賞公開選考会』が開催され、全国でもまれな公開選考による文学賞決定の瞬間を見ようと、約170人の文芸ファンが来場しました。作家の高橋義夫さん・竹田真砂子さん・中村彰彦さん、文芸評論家の清原康正さんの選考委員が、27の応募作品から最終選考に残った3作品を講評し、選考の結果、平安から鎌倉時代に活躍した天才仏師運慶の一生を描いた、梓澤要さんの「荒仏師運慶」が受賞しました。

第23回中山義秀文学賞公開選考会
梓澤要さんの「荒仏師運慶」が受賞



▲ジョイントステージで交響詩「フィンランディア」を演奏する様子

第21回しらかわ音楽の祭典「市民音楽祭」
音楽の素晴らしさを市民と共有
11月4日、コミネスで『第21回しらかわ音楽の祭典「市民音楽祭」』が行われ、小・中学校、高校、一般の27団体が合唱や合奏などを披露し、音楽の素晴らしさを市民と共有しました。第6回日本学校合奏コンクール2017全国大会グランドコンテストに出場した中央中器楽部と、同校特設合奏クラブによるジョイントステージの演奏では、荘厳さと厚みのあるハーモニーが、来場者を魅了しました。